

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりにき緊張感

2025 (令和7) 年10月30日 / 臨時号外号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！



風早北部地域ふるさと協議会

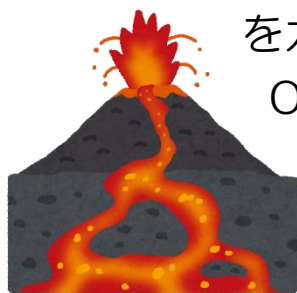
富士山はいつ噴火してもおかしくない むしろ噴火は「スタンバイ」の状態 京大名誉教授・鎌田浩毅氏のお話しより

南海トラフや首都直下の大きな地震が誘発材料となって、近い将来に富士山噴火は十分起こり得ることが地震学、地学、火山学等の専門家から提示され、政府や東京都では、今年に入ってから、既に AI を利用した市民への注意喚起の動画を公表しています。

それぞれ、「富士山噴火 内閣府」「富士山噴火 東京都」で検索して、約10分、約3分の上映時間の動画を閲覧できます。

前回の富士山噴火が5代将軍徳川綱吉の時代の1707年（約300年前）に起きていますが、その時も、南海トラフ地震の49日後でした。

この主張を昨年以降から明確に公にされているのが、そうした大地震と富士山噴火のタイミングが2030年代に起こる可能性が高いことを力説する京都大学の鎌田教授です。その直近動画が公開（2025年3月20日公開）されています。



ですので、是非下記 QR コードでアクセスしてご覧ください（上映時間は約22分です）。

柏市を含む首都圏は物流が長期間停止・停滞することで、食糧難や生活物資枯渇が無期限に続く想定されています。私どもは昨年末から柏市にその対応策を要望していますが、市はなかなか重い腰を動かそうとしません。目先の対策や業務に手いっぱいであることがその原因と思われる。

防災ネットしょうなん 2025.10.30 付臨時号外号



【富士山の噴火と被害】300年前の噴火からの教訓／火山灰が5cm降るとライフラインはすべて停止／火山灰の影響は地震被害より長期／スロースリップから地震...

